

『理事長からの挨拶』

大川匡子理事長

滋賀いのちの電話が発足して今年は 7 年目になりました。まずこれまで多くの方々から温かいご支援をいただきましたことを心から感謝しております。

さて今年もまた新しい春がきました。昨年から、日本社会が大きく変容しています。全世界の人々はそれぞれ異なった問題に直面していることとなりますが、経済の発展と平和はだれもが願っていることです。わが国は東日本大震災からの復興と 2020 年の東京オリンピックにむけ、新しい波が来ているようです。

さていのちの電話は自殺をなくすという世界共通の基盤から出発しました。経済情勢が不安定な状況で自殺が増加してきました。国は平成 18 年に自殺対策基本法を制定し、それ以来、地域、職場に相談窓口を広げ、だれもが自殺対策に参加するよう呼びかけ

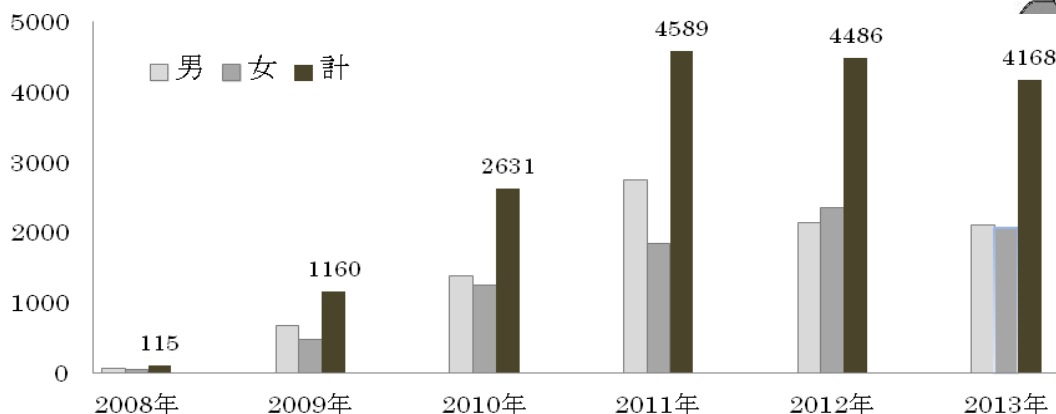
てきました。最近のわが国では少し明るい兆しがみえてきたようですが、まだまだ十分とはいえないようです。

いのちの電話相談員はそのような背景のもとで、困っているみなさんの顔がみえないところで昼夜活動をしています。“いつでもあなたのそばにいるいのちの電話”です。この活動は NPO 法人組織によりサポートされ、相談員はそれぞれの任務にあたっています。自殺率の低下と、「あの時の電話の声に救われました」という一言が何よりの喜びです。

多くの皆様と共に滋賀いのちの電話は今後もますます活動を広げていきます。皆様のご支援をどうぞよろしくお願いします。



～2008 年から 2013 年の総受信件数～



受信曜日・時間の経緯

- ☆ 2008 年 8 月～2009 年 8 月；毎日曜日、12 時から 20 時までの 8 時間
- ☆ 2009 年 9 月～2010 年 8 月；毎金曜日・土曜日 18 時から 22 時の各 4 時間、毎日曜日 14 時から 22 時の 8 時間
- ☆ 2010 年 9 月～現在；毎金曜日・土曜日・日曜日、10 時から 22 時の各 12 時間

「電話を通してできること」

守山心のクリニック 精神科医 平木久代氏

人は電話で人に話すことによって、何を得ることができるでしょうか。

慰め？解決？もちろん、そういったものもあるでしょう。でも、それ以前の何かがあると思うのです。例えば、パソコン音痴の私がサポートセンターに電話したとき、あるところではとても機械的な応答でした。また別のところでは、私の困り感を察知しながら導いてくれて、無事に解決したら「ああ、よかったです」とうれしそうな応答でした。

つまり、そこにあたりなかつたりしたのは、「相手のことに関心を持ち、力になりたい」という思いを持ち、人間らしい反応を返す」という態度だと思います。

私たちは誰もが、「自分に関心を寄せて人間らしい反応を返してもらうこと」を必要としています。そして弱っている時ほどそれはさらに必要となり、生きていくための栄養素とも言えます。

いのちの電話を通して、そのような人間らしい暖かいつながりを作れたらすばらしいことだと思います。

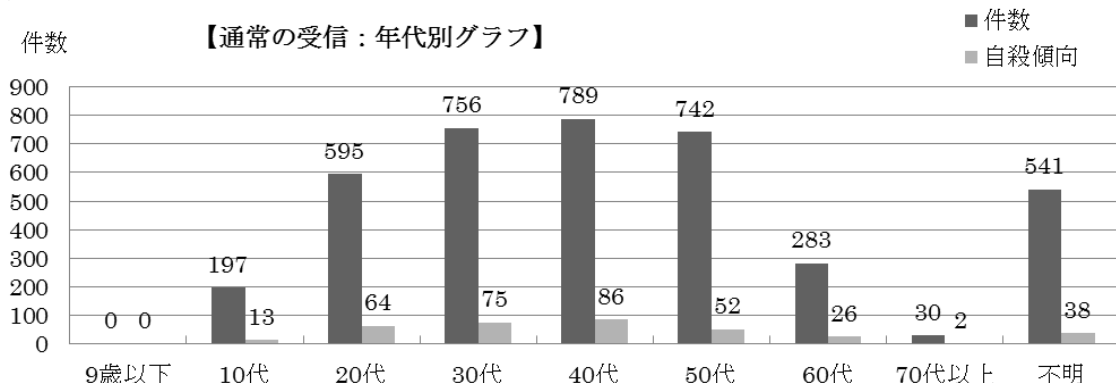
～電話相談受信報告～ 期間：2013年1月から12月

(件数)	通常	FD	通常+FD
男	1973	127	2100
女	1960	108	2068
計	3933	235	4168

毎週金曜日から日曜日の3日間、各10時から22時の12時間受信した相談電話(通常)は、3933件であった。また、毎月10日のフリーダイヤル(FD)では235件の相談電話があった。
総受信時間は、1583時間45分であった。

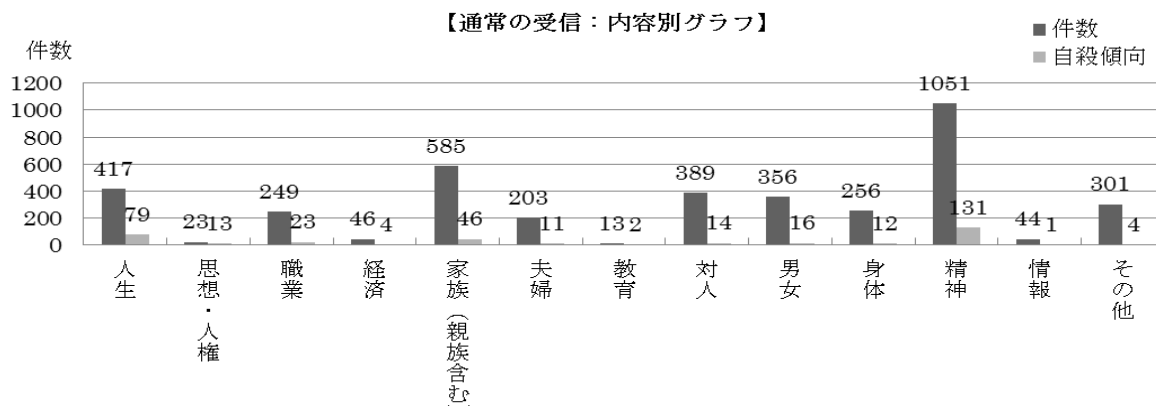
年代別受信について:(通常)

3933件の相談があった。その内30才代から50才代が742～789件で相談の約60%、20代を加えると全体の3/4の約75%となり、若年層から中年までの相談が主であった。男女別では差はなく、ほぼ同数であった。また、「自殺傾向」は、相談数の約10%の356件あり、自殺念慮(327件)、危険(16件)、予告通告(9件)及び実行中が4件あった。男女別では女性が2/3の割合で多く、222件であった。



内容別受信:(通常)

相談数の約 1/4 が「精神」の相談であった。その内 40%が“うつ”で悩む相談で、その 2/3 が女性からであった。「家族」の相談は 585 件あり、女性のほうが男性より 1.5 倍多く、内容では“不満”が 213 件あり、約 80%が女性からであった。また「人生」の相談は、417 件あり、“生き方・生きがい”が 186 件、“孤独”が 130 件あり、生きづらさがうかがえた。その他、「対人」の相談が 389 件あり、その内“不和、トラブル”が156件あった。



資金ボランティア大募集

あなたにお願い、ご理解、ご支援を！

電話相談活動を資金面から支えて頂くボランティアです。「いのちの電話」を継続して運営していくためには、相談員のための研修、広報や事務費などに多くの資金が必要です。今、資金が足りません。一人でも多くの方のご理解、ご支援をお願いします。

「NPO 法人滋賀いのちの電話」は、電話相談員及びスタッフによるボランティア活動、そして、運営資金を提供して下さる個人や企業・団体の資金ボランティアによって成り立ち、支えられています。

滋賀いのちの電話には、誰にも話すことが出来ず、孤独や絶望、不安、心の悩みに苦しむ人々の訴えが多く寄せられています。電話相談員は、これらの訴えを傾聴するとともに受容・共感して寄り添い、相談者の心が少しでも穏やかになるようにと心から願って活動しています。今後の活動のためになお一層の皆様のご理解とご支援を頂けますよう、心よりお願い申し上げます。



資金ボランティア:

- 個人賛助会員:資金面から支えてくださる個人；1口 3千円（口数は自由、年間）
- 団体賛助会員:資金面から支えてくださる法人；1口 3千円（口数は自由、年間）
- 寄付:匿名希望などで資金を提供して下さる個人または法人。

金額を問いません。

◎振込先 特定非営利活動法人 滋賀いのちの電話

☆滋賀銀行 瀬田駅前支店 普通預金 番号:251748

☆郵便振替 00940-8-300160

振込用紙のご請求などのお問い合わせは、事務局までお願いします。

感謝報告

2013年にご理解とご支援を頂いた方々

皆様の深いご理解と暖かいご支援に支えられ、研修費、事務費などの運営資金として役立たせていただきました。心から感謝申し上げます。(敬称略、順不同)

正会員 : 赤佐重子、大川匡子、奥村千寿子、北島多美子、京常子、熊澤孝久、酒井豊彦、笹川眞知子、鹿田芳子、新納京子、田中待子、千原美重子、中井肇二、中井美幸、中井美容、中村勝彦、藤波哲、古蔵津女代、三上房枝、三矢早美、安原和重

個人賛助会員:(個人として応援してくださっています。感謝です。)

阿部盛雄、田島一成、井上やよい、辻本哲士、伊藤吉哉、鳥飼静代、藤居敏、鳥居静夫、大久保浩子、中川みゆき、奥村益良、中山すみ子、太田廣史、澤慰子、羽野正清、大熊新一、平井きよ子、大橋道伸、引田啓子、大久保幸子、廣瀬童心、桐山菊子、藤原豊美、熊越祐子、福井照雄、鎌本龍二郎、福本喜美、小橋寿子、桶谷京子、近藤眞知子、藤田治彦、細井俊司、笹山和江、前田優子、松尾恵美、新納絵里子、松井成美、新納麻衣子、松岡陽子、塩田余待美、高村満子、山田容、須戸由廣、村田ゆき子、園田美世子、安原昌和、田中清行、山瀬郷史、田中遊心、山口和美

団体賛助会員:(法人として応援してくださっています。感謝です。)

㈱ヤマジ滋賀営業所、長浜保健センター高月分室有志の会、井上自動車、滋賀県薬剤師会、(有)フクチ薬局、オチアイ・アート、(有)松井商店

寄付:(ご厚意に本当に感謝いたします。)

井上やよい、上ノ山眞佐子、奥村千寿子、桶谷京子、キムラタイキ、熊澤孝久、近藤眞知子、笹山和江、澤慰子、塩田余待美、新納京子、田中待子、田中富三、辻本哲士、中山すみ子、中井肇二、長谷川初子、廣瀬童心、古蔵津女代、山田容、医療法人碧水会守山心のクリニック 平木久代、藤原豊美、堀川哲夫、三上房枝、安原和重、



今後とも変わらぬご理解、ご支援をお願い申し上げます。なお、記載漏れ、誤字などがございました場合、お手数ですが、事務局までご一報くだされば幸いに存じます。

お知らせ

☐ 電話相談員募集(2014年度)予告

電話相談員が心の痛みや悩みを訴えられる方に向き合い、良き相談相手となって活動しています。また、研修などを通して相談員同士の交流もあり、人との出会いやふれあいを通して人生の意義や生き甲斐にも出会えます。

相談員になっていただくための第8期養成講座の受講生を募集します。

☐ 講師派遣

学校、企業、団体などに「滋賀いのちの電話」の研修担当が「お話を聴く専門家」として参ります。

詳しくは、事務局までお問い合わせください。

編集後記

滋賀いのちの電話通信第3号発行の運びとなりました。ご無沙汰していましたのを深くお詫びいたします。ご支援してくださっている皆様にご報告しなければならぬのに本当に申し訳ありませんでした。

一歩一歩地道に活動しながら、これからお伝えしていきたいと思っています。ご支援の程どうか宜しくお願いいたします。(堀川記)

発行 特定非営利活動法人
滋賀いのちの電話 事務局

〒525-8799

草津郵便局私書箱第10号

電話・FAX:077-552-1281

メール:sind@gaia.eonet.ne.jp

<http://www.shiga-inotino-denwa.org/>

